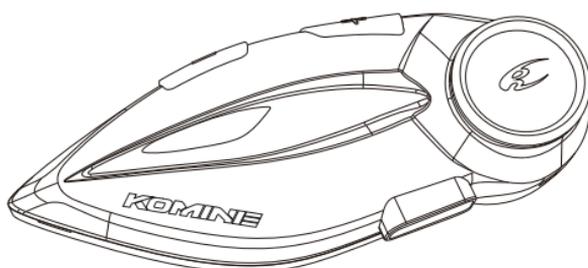


取扱説明書

KK-902

Motorcycle Intercom



KOMINE®
SAFETY & INNOVATION

1.内蔵リチウムイオン電池について	5
2.本製品の特徴	6
3.商品内容	7
4.各部の名称と機能	8
4.1.セット全体における各部の名称と機能	8
4.2.本体における各部の名称と機能	9
5.使用前の準備	10
5.1.バッテリーの充電	10
5.2.電源のON/OFF	10
5.3.バッテリー残量の音声案内	11
5.4.使用言語の設定 / Switching languages	11
6.ヘルメットへの取り付け方法	12
6.1.取り付け前の確認	12
6.2.スピーカーの取り付け	12
6.3.マイクの取り付け	13
6.4.本体ユニットの取り付け、取り外し	14
6.5.ケーブルコネクターの接続	15
6.6.動作確認	15
7.スマートフォン等との接続	16
7.1.初期登録	16
7.2.ペアリング済みのデバイスとの接続	16
8.電話機能	17
8.1.着信設定	17
8.2.ハンズフリー通話	17
9.音楽再生機能	18
9.1.スマートフォン等の操作	18
9.2.KK-902の操作	18
10.グループ通話設定方法(2人~4人)	19
10.1.グループ通話方法(KK-902同士)	19
10.2.他社インカムとの接続(一台接続のみ)	20
10.3.グループ通話の終了	21
10.4.音量設定	21
11.ペアリングリセット	21
12.Q&A	22
13.クイックマニュアル / Quick manual (English)	23
14.保証書・保証規定	25

- ご使用になる前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。
- この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

KOMINE ご使用前に必ずお読みください KOMINE

※取扱説明書の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社は一切の責任を負いません。

※商品の保証については保証書の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を次のシンボルマークで示しています。	
 危険	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重症に至る差し迫った危険が想定される場合を示してあります。
 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告



禁止

- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。)
運航の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤作動する原因となります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- 雷が聞こえたら、本製品の電源をOFFにして、速やかに安全な場所へ避難して下さい。落雷に遭う恐れがあります。



分解禁止

- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社までご相談ください。

注意



実施

- 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社にご連絡ください。
- 高温多湿な場所や熱源の近くで使用しないでください。本体の変形から、発熱、発火、破裂、感電につながる恐れがあります。
- 音量は控え目の設定を心がけてください。大音量での使用は、難聴の原因や鼓膜の損傷につながる恐れがあります。
- 外気温が低いとき室外から室内へ移動すると、本体内部に結露が発生することがあります。その状態のまま使用すると、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- 自動ドアや火災報知機付近での使用は控えてください。自動ドアや火災報知機誤作動の原因になります。
- 本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所でご利用ください。
- 本体は走行中に落下しないようにヘルメットへ確実に取り付けをしてください。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 油類等を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- 本体ケーブル、マイクのフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- 本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- ケーブルの接続の際には、コネクタを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- 本製品の使用可能な温度範囲は約-10℃~約40℃です。温度範囲外での使用に関するトラブルは保証致しかねます。

 実施	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。 ●KK-902を走行中に操作しないでください。操作する場合は安全な場所に止まってから操作してください。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防水性を考慮した構造となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。 ●浸水による故障は保証期間内でも保証対象外となります。 <small>※ 本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。</small>
 法令違反	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。 ●運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
 その他	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。 ●部品の交換修理、補修部品の購入につきましては、弊社へお問い合わせください。 <small>※ 本製品の故障による代替品の貸出しは一切行っておりません。</small> <small>※本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。</small>

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠危険

- 分解したり、改造しないでください。リチウムイオン電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
- ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- 火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形したり、リチウムイオン電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので擦らずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。

⚠警告

- 指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高压容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電池から液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
- リチウムイオン電池は消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- リチウムイオン電池を廃棄したり、リサイクル BOX に出すときは、セロハンテープなどで電極をおおい、絶縁してください。電極が他の金属に触れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- リチウムイオン電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の規則に従って処理してください。

⚠注意

- 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
- 濡れた手でリチウムイオン電池を触らないでください。感電の原因となります。
- 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が上がリ、低温やけどの原因となります。

- リチウムイオン電池を直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。(充電温度範囲: 0℃~+45℃)
高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。また、充電後に長期間使用しない場合でも、過放電による劣化を防ぐために、3ヶ月に一度充電を行ってください。

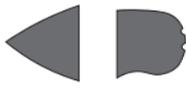
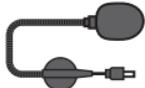
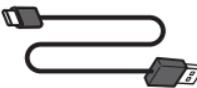
KOMINE

2. 本製品の特徴

KOMINE

- 音楽再生が約 24時間可能
- 2スピーカー仕様でステレオ再生に対応
- 通信距離は、見通し距離で約1000m程度
※使用する環境や走行条件によって変化します
- KK-902同士で最大4人同時通話が可能
※他社製品によってはグループトーク不可能なものや接続不可能なものもございます。
- インカム通話自動復帰
- ミュージックプレイヤーを接続し再生、停止、曲送り、曲戻しが可能
- ヘルメットへの取り付けは、両面テープ接着方式。殆どのヘルメットへ装着が可能
- ブーム型とケーブル型の2種類のマイク付属。フルフェイスでもマイクが邪魔になりません
- 日本語音声案内
- 操作しやすい形状
- 防水性能IP67相当

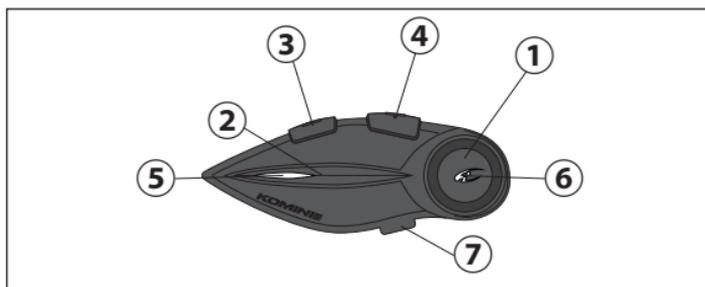
以下が商品/パッケージ構成内容となりますので確認の上ご使用ください。
万が一不足部品がございましたら弊社の方までご連絡ください。

		×1	
①本体ユニット			
	×1		×1
②ベースプレート		③ベースプレート固定用クリップ	
	×1		×1
④Type-Cケーブル スピーカー		⑤ベースプレート固定用 両面粘着シート	
	×1		×1
⑥両面粘着シール付クッションスペーサー		⑦マイク(ケーブル型)	
	×1		×1
⑧マイク(ケーブル型) 固定用 面ファスナー(メス)		⑨マイク(ブーム型)	
	×1		×2
⑩マイク(ブーム型) 固定用 面ファスナー(メス)		⑪スピーカー固定用 面ファスナー(メス)	
	×2		×1
⑫スピーカー位置調整用パッド		⑬USBケーブル(Type-B - Type-C)	
	×1		
⑭取扱説明書			

4.1. セット全体における各部の名称と機能

No.	名称	機能
①	本体ユニット	インカム通話や音楽の再生など、すべての操作を本体ユニットで行います。
②	ベースプレート	本体ユニットをヘルメットに固定するためのパーツです。
③	ベースプレート固定用クリップ	ベースプレートをヘルメットに固定するためのパーツです。
④	Type-Cケーブルスピーカー	本体ユニットにType-C端子のケーブルで繋げることができるスピーカーです。
⑤	ベースプレート固定用両面粘着シート	ベースプレートをヘルメットに貼り付けるための両面粘着シートです。
⑥	両面粘着シール付クッションスペーサー	クリップによる固定の際に使用する両面粘着シール付きのクッションです。
⑦	マイク (ケーブル型)	フルフェイスヘルメット等のチンガードのあるヘルメット向けのケーブル型のマイクです。
⑧	マイク(ケーブル型)固定用面ファスナー(メス)	マイク(ケーブル型)をヘルメットに固定する際に必要になる、両面粘着シール付き面ファスナーです。
⑨	マイク (ブーム型)	ジェットヘルメット等のチンガードが無いヘルメット向けのブーム型のマイクです。 お好みの位置にマイクをセットできます。
⑩	マイク(ブーム型)固定用面ファスナー(メス)	マイク(ブーム型)をヘルメットに固定する際に必要になる、両面粘着シール付き面ファスナーです。
⑪	スピーカー固定用面ファスナー(メス)	スピーカーをヘルメットに固定する際に必要になる、両面粘着シール付き面ファスナーです。
⑫	スピーカー位置調整用パッド	必要に応じてパッドを入れ、耳とスピーカーの位置を調整します。
⑬	USBケーブル (Type-B - Type-C)	本体への充電に必要な充電用ケーブルです。
⑭	取扱説明書	KK-902の取扱に関する説明書です。

4.2. KK-902本体における各部の名称と機能



No.	名称	アイコン	機能
①	K-ボタン		電源操作、スマートフォン等とのペアリング、携帯電話の操作、音楽の再生・停止に使用します。
②	i-ボタン		電源操作、インカム機能の操作に使用します。
③	－ボタン		音量を下げる際に使用します。
④	+ボタン		音量を上げる際に使用します。
⑤	i-LEDランプ		ボタン上に配置されたLEDランプです。
⑥	K-LEDランプ		Kボタン上に配置されたLEDランプです。
⑦	ケーブル接続端子		本体ユニットと各マイク、スピーカーの接続および充電に使用します。

5.1. バッテリーの充電

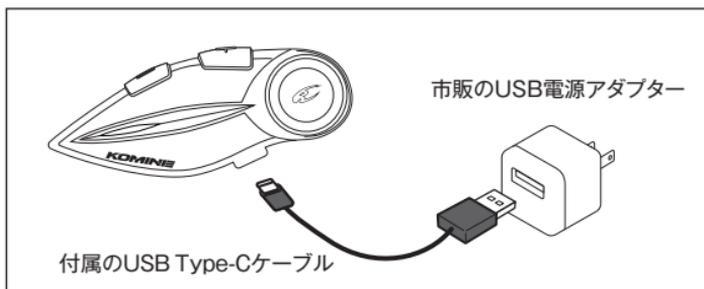
KK-902は本体にバッテリーを内蔵しています。

内蔵バッテリーを充電する際は本体ユニット、付属のUSB Type-Cケーブル、市販のUSB電源アダプター(定格DC5V-0.8A以上)をつなぎコンセントへ差し込んでください。

充電中はLEDランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

バッテリー残量0%から100%までの充電時間は5.0V-1.0Aの充電器で約2.5時間です。

⚠注意



- 充電完了(LED消灯)したまま放置しないでください。バッテリーの寿命を縮める原因となります。
- 初めて使用する時は必ず充電してからご使用ください。
- 本製品にUSB電源アダプターは付属いたしません。
市販のUSB電源アダプター(定格DC5.0V-0.8A以上)をご用意ください。
- 充電時間は使用する充電器、バッテリー状態により異なります。
- USB Type-Cケーブルは端子嵌合が固めです。
ケーブルを抜き挿しする際、誤ってKK-902の接続端子を破損させないように十分ご注意ください。

5.2. 電源のON/OFF

【電源ON】

[操作] K-ボタンとi-ボタンを同時に3秒間押し続けます。

[応答] 電源が入りますとLEDが1秒間青く光り、「電源が入ります。」と音声案内が流れます。

状態	電源OFF	→	電源ON
操作	 + 		3秒間押す
応答			LED点灯(青/1秒間) 電源が入りました。

【電源OFF】

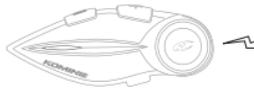
[操作] 電源がONの状態K-ボタンとi-ボタンを同時に3秒間押し続けます。

[応答] 電源が入りますとLEDが1秒間赤く光り、「電源を切ります。」と音声案内が流れます。

状態	電源ON → 電源OFF
操作	 +  3秒間押す
応答	 <p>LED点灯 (赤/1秒間)</p> <p>電源を切ります。</p>

5.3. バッテリー残量の音声案内

以下の操作を行うことでバッテリー残量が音声で案内されます。

状態	電源ON
操作	 +  2秒間押す
応答	 <p>(例) バッテリー残量 50%以上。</p>

音声案内	内蔵バッテリーの状態
バッテリー残量 90%以上。	約23時間程度使用可能です。
バッテリー残量 50%以上。	約21～12時間程度使用可能です。
バッテリー残量 50%以下。	約11時間程度使用可能です。
バッテリー残量 10%以下。	充電が必要です。充電を行ってください。

※スマートフォンとペアリングし、最大音量で音楽を流した場合の目安時間です。バッテリーの状態や使用状況によって使用可能な時間は変動しますのでご注意ください。

5.4. 使用言語の設定/Language switching

以下の操作を行うことで使用言語の設定が可能です。

初期設定は日本語となっております。

You can switch languages which you like Japanese or English.

The default language is Japanese.

状態	電源ON / Powered ON
操作	 +  +  5秒間押す/Press 5 second
応答	 <p>LED点灯 (青/2秒間)</p> <p>Blue flash / 2 second</p>

※ペアリングリセットを行うことで言語設定が初期状態である日本語にリセットされます。その場合は言語の再設定をしてください。

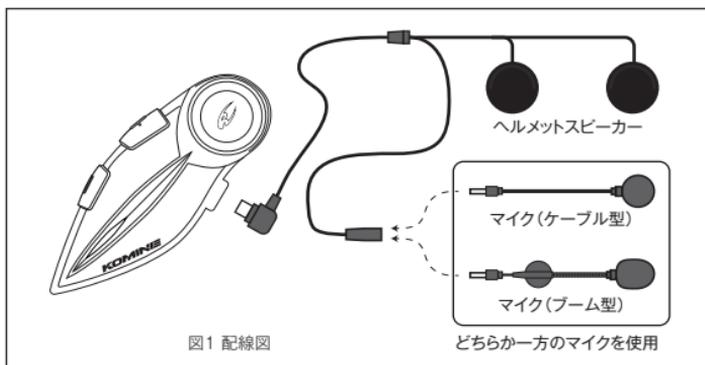
Doing pairing reset will reset the language setting to the default setting of Japanese.

In that case, please switch the language again.

6.1. 取り付け前の確認

ヘルメットに取り付ける前にケーブルを全て接続し、以下の内容を確認します。

- 実際のヘルメットで各パーツがどの位置になるのか。
- 実際のヘルメットでケーブルの長さがどのくらいになるのか。
- 本体の電源を入れ、左右のスピーカーから正しく音が出るか。
- スマートフォンなどをペアリングし、ミュージックプレイヤーを再生してスピーカーの音量調整などが正しくできるか。



取り付け前の確認で何らかの以上がございましたら、商品と保証書をご用意いただき、当社へ修理依頼をしていただきますようお願いいたします。

※ヘルメットへの取り付け後の異常につきましては、保証期間内であっても保証修理をお断りすることがあります。

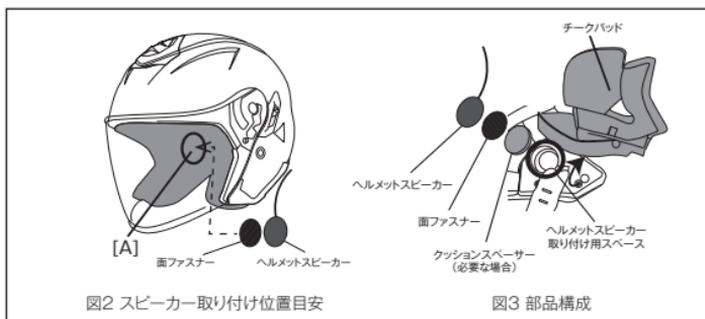
6.2. スピーカーの取り付け

①はじめに [A] の位置(図2)を目安にヘルメットを被った際に耳の穴の中心にスピーカーがくるよう、位置を決めます。

②決まった位置に面ファスナーをライナーのスポンジ部分より内側に貼り付け、ヘルメットスピーカーを取り付けます。

※スポンジより外側に取り付けますと音がスポンジにより吸音され音が聞こえづらくなる場合がございます。

※耳への距離が近いほど音が聞こえやすくなります。



※ヘルメットによってはチークパッドの外側にヘルメットスピーカー取り付け用スペースがある場合がございますのでそちらを利用したスピーカーの取り付けを推奨いたします(図3)。

6.3. マイクの取り付け

本セットには以下の2種類のマイクが付属しています。

- 1.マイク(ブーム型)
- 2.マイク(ケーブル型)

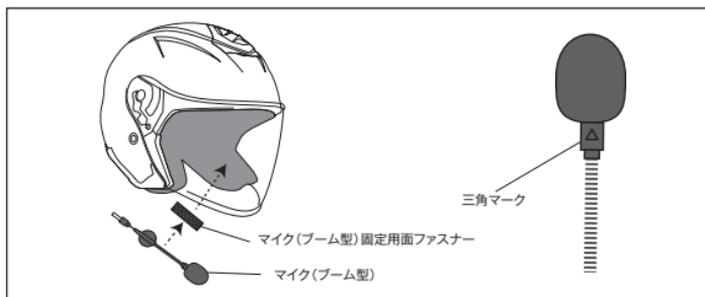
風の巻き込みができる限り少なく口元に近い位置に取り付けられるよう、ヘルメットの仕様に合わせていずれかを選択してください。

【1.マイク(ブーム型)】

[対応ヘルメットタイプ] オープンフェイス型、ジェット型

[取り付け方法]

- ①チークパッドがある場合はチークパッドを取り外します。
- ②ヘルメット内側にマイク(ブーム型) 固定用面ファスナーを貼り付け、マイク(ブーム型)を取り付けます。この時、マイクのスポンジ付近の三角マークが口の方を向くようにします。
- ③チークパッドを元に戻します。



※チークパッドの取り外しができないヘルメットはヘルメットの外側に取り付けてください。

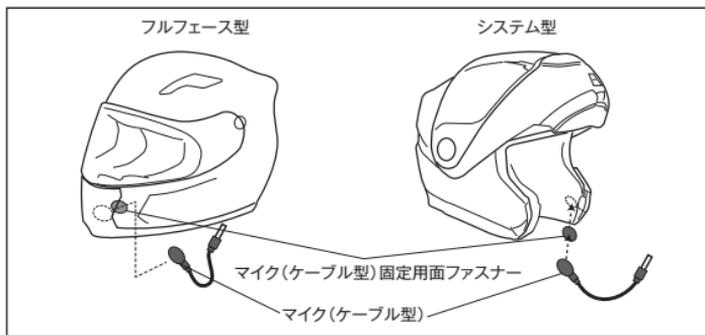
※マイクの位置は口元から1~2cmほど離れた位置に合わせます。

【2.マイク(ケーブル型)】

[対応ヘルメットタイプ] フルフェイス型、システム型

[取り付け方法]

- ①チンガードの口元に近い位置に面ファスナーを貼り付け、マイク(ケーブル型)を取り付けます。
システムヘルメットなど可動式のチンガードが備わっている場合にはチークパッドの内側に取り付けるなど、可動部分には取り付けないようお気を付けてください。
- ②チークパッドとヘルメットの間隙にケーブルを収納します。



※チークパッドの布の中にマイクを取り付けるため、音質や音声出力が悪くなる場合があります。

⚠️ 注意

- マイク先端のスポンジは、マイクに風切り音が入らないようにするものです。スポンジを取り付けない状態でマイクに風が当たると、大きなノイズとなって通話音声に入ってしまうので、常にマイクの先端にスポンジを取り付けた状態でご使用ください。
- ブーム型のマイクの位置を調整する際は、マイクが外れる恐れがありますので、アーム部分を無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 可動部分やパッドのファスナー部分にワイヤーが干渉しないように注意してください。

6.4. 本体ユニットの取り付け、取り外し

【本体ユニットの取り付け】

ヘルメットヘインカム本体を取り付ける方法は以下の2通りの方法がございます。

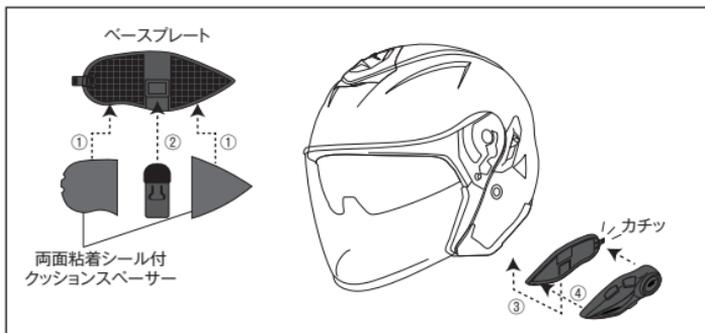
1. クリップによる固定

2. 両面粘着シートによる固定

それぞれの固定方法は以下の通りです。

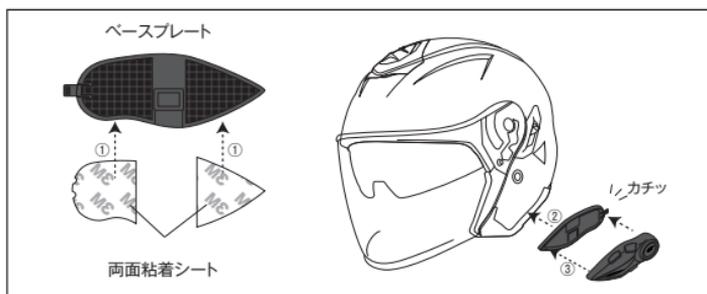
お読みになった上でご自身のヘルメットに合わせた固定方法をお選びください。

【1. クリップによる固定】



- ① ベースプレートのヘルメット側の格子状の面に両面粘着シール付クッションスペーサーを貼り付けます。(向きにご注意ください)
- ② ベースプレート固定用クリップをベースプレートのスリット部分に挿しこみ固定します。
- ③ ヘルメットの左側の顎周辺のシェルに挟み込むようにクリップで固定します。
- ④ はじめにベースプレートの先端部分の爪に本体先端のくぼみ部分をはめ込みます。次にベースプレート後ろ側のつまみ部分の爪がカチッとなるまで押し込んでベースプレートと本体の接続が完了します。

【2.両面粘着シートによる固定】

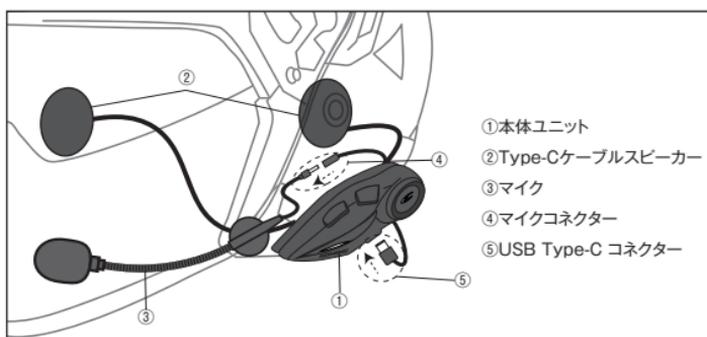


- ①ベースプレートのヘルメット側の格子状の面に両面粘着シートを貼り付けます。(向きにご注意ください)
- ②両面粘着シートのフィルムを剥がし、ベースプレートをヘルメット左側の顎周辺に貼り付けます。
- ③はじめにベースプレートの先端部分の爪に本体先端のくぼみ部分をはめ込みます。次にベースプレート後側のつまみ部分の爪がカチッとなるまで押し込んでベースプレートと本体の接続が完了します。

- ヘルメットの形状によりベースプレートが部分的に浮いてしまう場合は、市販の両面粘着シート等を使用し隙間を減らすなどして密着性を高めて使用してください。
- 貼り付け後約12時間程度は動かさないでください。
- 本体ユニットを取り外す際はベースプレートのつまみ部分を押し下げることで本体ユニットの固定が解除され取り外すことができます。**

6.5. ケーブルコネクターの接続

これまでに取り付けを確認してきた各ユニット同士を以下のように接続します。接続したケーブルはヘルメットとインナーパッドの隙間に収納します。



6.6. 動作確認

取り付け完了後は、以下の内容を確認してください。

- 本体の電源を入れ、左右のスピーカーから正しく音が出るか。
- スマートフォンなどをペアリングし、ミュージックプレイヤーを再生して音量調整などの操作が正しくできるか。

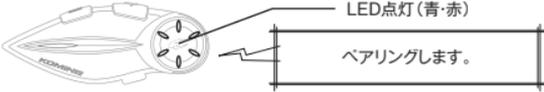
この段階で異常がございましたら、6.1.~6.5.までの手順を再度見直してください。異常が改善されない場合は商品と保証書をご用意いただき弊社まで修理依頼をしていただきますようお願いいたします。

7.1. 初期登録

【KK-902をペアリングモードにする】

[操作] 電源をONにした状態でK-ボタンを長押しします。

[応答] ペアリングが開始されるとK-ボタンのLEDが青・赤の交互に高速点滅し、「ペアリングします。」と音声案内が流れます。

状態	ペアリングモード	
操作		長押し
応答		
点灯パターン		

【スマートフォン等にKK-902を登録する】

スマートフォン等に本製品を接続させるため、以下の操作を行います。

- ①スマートフォン等のBluetooth機能をONにします。
- ②接続可能なデバイスを検索し、表示されたリストの中から「KK-902」を選択します。
- ③スマートフォン等の画面上で「接続済み」等の表示で接続が完了すると、KK-902本体から「デバイスが接続されました。」と音声案内が流れます。

7.2. ペアリング済みのデバイスとの接続

初期登録が完了したデバイスは、その後電源を入れるだけで自動的に接続されます。

自動接続されない場合はスマートフォン等でペアリングに関する設定をご確認いただき、再度初期設定の操作を行ってください。

※スマートフォン等の操作方法は対象機器の取扱説明書をご確認ください。

携帯電話等のデバイスとペアリングすることで、KK-902をハンズフリーヘッドセットとして使用することができます。

8.1. 着信設定

本製品には自動通話対応の機能がございます。操作方法に関しては以下の通りです。

【自動通話対応をONにする】

[操作] 電源をONにした状態でi-ボタン、+ボタン、-ボタンを長押しします。

[応答] 自動通話対応がONになると「自動通話対応をONにします。」と音声案内が流れます。

状態	自動通話対応OFF → 自動通話対応ON
操作	 +  +  長押し
応答	  自動通話対応をONにします。

【自動通話対応をOFFにする】

[操作] 自動通話対応がONの状態ではi-ボタン、+ボタン、-ボタンを長押しします。

[応答] 自動通話対応がOFFになると「自動通話対応をOFFにします。」と音声案内が流れます。

状態	自動通話対応ON → 自動通話対応OFF
操作	 +  +  長押し
応答	  自動通話対応をOFFにします。

8.2. ハンズフリー通話

ペアリング中のスマートフォン等のデバイス上で着信が来た際にK-ボタンを一度短く押すことで電話応対をすることができ、ハンズフリー通話をすることができます。通話中に再度K-ボタンを一度短く押すことで電話を切ることができます。

※インカム通話中でも操作を行うことで電話応対をすることができます。電話応対中インカム通話は中断され、電話応対が終わるとインカム通話が再開されます。

スマートフォン等とペアリングすることで、ワイヤレスで音楽を聴くことができます。

9.1. スマートフォン等の操作

【スマートフォン等の画面上で再生する曲やプレイリストを決める】

ペアリングされたスマートフォン等で操作をすることで、曲やプレイリストを再生します。

詳しい操作に関してはそれぞれのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

9.2. KK-902の操作

【KK-902の操作】

音楽プレイヤーで再生された音楽はKK-902で操作が可能です。

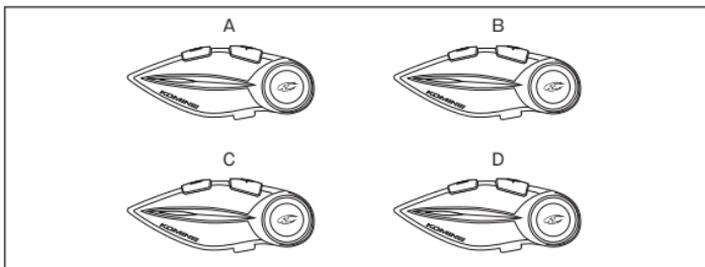
操作	使用ボタン
再生/一時停止	
音量を上げる	
音量を下げる	

10.1. グループ通話の初期登録(KK-902同士)

【ペアリング手順】

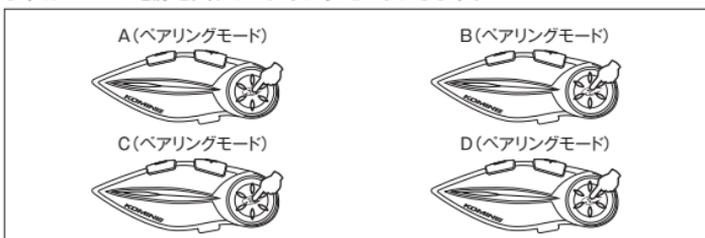
①接続する機器を確認する。

グループ通話に参加するすべての機器を見える位置に置きます。
ここではそれぞれのインカムをA~Dとします。(2台、3台接続の場合も同様です。)



②A~Dをペアリングモードにする

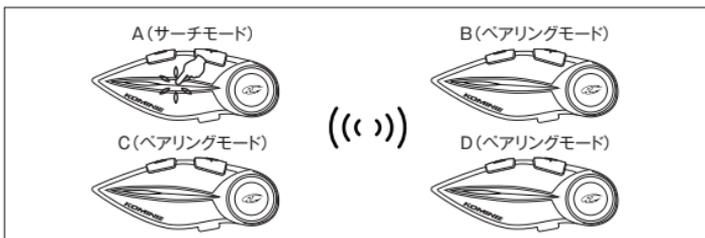
まずはA~Dの電源を入れ、ペアリングモードにします。

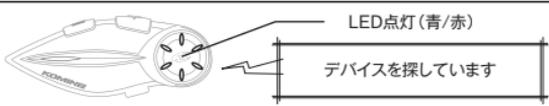


状態	ペアリングモード	
操作		長押し
応答		LED点灯(青・赤) ペアリングします。
点灯パターン	赤 青 赤 青 赤 青 赤 青 赤 青 0秒 → 5秒	

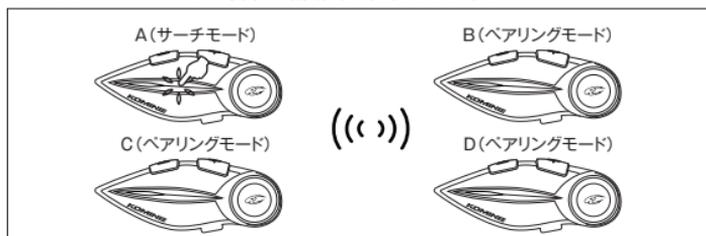
③A~Dのうち、1台をサーチモードにする

4台のうち1台をサーチモードにします。

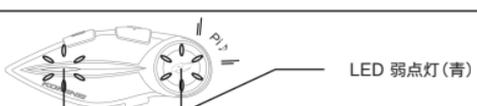


状態	サーチモード
操作	 一度短く押す(ペアリングモードの時)
応答	 LED点灯(青/赤) デバイスを探しています
点灯パターン	 0秒 → 5秒

④すべてのデバイスが接続されるまで待機する
それぞれのデバイスが一台ずつ自動的に接続されます。



用意されたデバイスがすべて接続されると通話が始まります。
通話中は以下のような状態になります。

状態	通話中
応答	 LED 弱点灯(青)
点灯パターン	 0秒 → 5秒

10.2. 他社インカムとの接続(一台接続のみ)

【ペアリング手順】

①接続する機器を確認し、電源を入れる

グループ通話に参加する機器を見る位置に置き、機器の電源を入れます。



②KK-902と他社製品を接続する

まず、KK-902をペアリングモードに、他社インカムをインカムとペアリングするモードもしくはスマホとペアリングするモードにします。

互いを認識するとピツと音が鳴ります。接続されたら通話が始まります。



10.3. グループ通話の終了

通話中にiボタンを一度短く押すことでグループ通話を終了することができます。再度iボタンを押すことで通話を再開することも可能です。

状態	通話OFF	
操作		一度短く押す
応答		LED点灯(青)
点灯パターン	●	● 0秒 → 5秒

10.4. 音量設定

通話中の音量に関する操作は以下の通りです。

操作	使用ボタン
音量を上げる	
音量を下げる	

注意

- 他社インカムは仕様によっては接続できない機種もございます。
- グループトーク中は特定の相手を選択して1対1の通話はできません。
- 「通話開始後の接続に時間がかかる」、「接続できない」、「接続が明らかに不安定」の場合は、一旦通話を手動で終了させてから再度手動で通話を開始してください。
- 他社インカムと接続するための操作に関しては他社インカムの説明書も参考にしながら接続をしてください。
- 他社インカムと接続する際の通信距離・通話品質は保証致しかねます。
- 接続がうまくいかない場合はベアリングリセットを行った後に再度初めからやり直してください。
- 接続まで時間がかかる場合がございます。
- 周辺にwi-fi環境やBluetooth機器が多数ある場合接続がうまくいかない場合がございますので屋外での接続を推奨いたします。

KOMINE

11.ベアリングリセット

KOMINE

インカムに記録されたベアリング情報のリセット方法は以下の通りです。新しくベアリングをする際は先述の内容をご覧ください。

状態	ベアリングリセット	
操作	 + 	5秒間押す
応答		LED点灯(紫/2秒間)

※ベアリングリセット後は自動でベアリングモードになります。

下記のような症状がある場合は、まずは取扱説明書をご覧ください。
その他ご不明な点がある場合は、弊社までお問い合わせください。

症状	対応方法
KK-902がスマートフォン等のデバイスと接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ▪ KK-902の電源がONになっていますか？ ▪ 十分にバッテリーが充電されていますか？ ▪ デバイスが正常に利用可能ですか？ ▪ デバイスのBluetooth機能がONになっていますか？ ▪ KK-902と携帯電話のペアリングが正しくできていますか？
自分の声が相手に伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本体ユニットにType-Cスピーカーケーブルが確実に接続されていますか？ ▪ マイクコネクタが確実に接続されていますか？ ▪ マイクの三角マークが口側に向いていますか？
相手の声や接続した機器の音楽や音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本体ユニットにType-Cスピーカーケーブルが確実に接続されていますか？ ▪ 音量設定が小さくなっていませんか？ ▪ ヘルメットスピーカーコネクタが確実に接続されていますか？ ▪ KK-902と接続した機器のBluetooth機能がONになっていますか？ ▪ KK-902とペアリングが正しくできていますか？
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スピーカーは正しい位置に取り付けられていますか？ ・ スピーカーと耳の距離を付属のスピーカー固定用調整パッドで調整してください。 ・ スピーカーを耳の穴の位置に合わせてください。
耳が痛い	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スピーカーが耳に強く当たっていませんか？ ・ スピーカーを耳の軟骨に当たらない位置に調節してください。
インカム通話時にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ペアリングリセット(p.21)をして再度ペアリングをお試しください。
グループトークをするとノイズが入ったり通信が不安定になる	<ul style="list-style-type: none"> ▪ グループトークのペアリングを初めて行った際にペアリングを行った順番通りに縦に並んで走行することで比較的安定した状態でご利用いただけます。
グループ通話のペアリングがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ペアリングリセット(p.21)をして再度ペアリングをお試しください。 詳しくはコミネ公式サイト上の商品ページに動画がございますのでそちらからもご確認いただけます。

■ 全機能共通操作 General operating

操作	使用ボタン	LED
電源ON Power ON	 +  3秒間長押し Press 3 sec	青:点灯 Blue light 1 sec
電源OFF Power OFF	 +  3秒間長押し Press 3 sec	赤:点灯 Red light 1 sec
バッテリー残量 チェック Checking battery remaining	 +  2秒間長押し Press 2 sec	—
音量を上げる Volume up	 短押し Short press	—
音量を下げる Volume down	 短押し Short press	—
ペアリングリセット Pairing reset	 +  3秒間長押し Press 3 sec	青・赤:点灯 Blue & Red light 2 sec

■ インカム通話操作 Intercom communicating operation

操作	使用ボタン	LED
通話開始 Intercom ON	 短押し Short press	青:弱点滅 Blue light slow flash
通話中断 Intercom OFF	 短押し Short press	青:短了点滅 Blue light short flash

■ 音楽再生機能 Music function

操作	使用ボタン	LED
再生 Music play	 短押し Short press	青:短了点滅(2回) Blue light short flash
停止 Music pause	 短押し Short press	青:短了点滅 Blue light short flash
前の曲に戻る Previous track	 2回短押し Short press twice	—
次の曲に進む Next track	 2回短押し Short press twice	—

初期登録 Initial registration

操作	使用ボタン	LED
ペアリングモード Pairing mode	 長押し Long press	青・赤:高速交互点滅 Red & Blue light quick flash
サーチモード Intercom searching mode	 3秒間長押し Press 3 sec	青・赤:交互点滅 Red & Blue light flash

ペアリング中のスマートフォンの操作 Smartphone operation during pairing

操作	使用ボタン	LED
着信対応 Answering the call	 短押し Short press	青:弱点滅 Blue light slow flash
通話終了 Hang up the call	 短押し Short press	—
応対拒否 Refuse the call	 2秒間長押し Press 2 sec	—
自動応対機能切り替え Automatic answering ON/OFF	 +  +  3秒間長押し Press 3 sec	—

1.保証期間

保証修理の期間は、正規販売店もしくは正規販売サイトからお買い上げいただいた日から使用の有無にかかわらず一年間とします。
フリマサイト・個人売買でのご購入の場合は有償でのご対応となりますのであらかじめご了承ください。

2.お客様にお守りいただく事項

当社商品を安全快適にご使用いただくためにはお客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守りください。
守られていない場合は保証修理をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

- (1)当社の取扱説明書に示す取り付け・取り扱い方法に従って使用すること。
- (2)運転前点検および保守、整備を実施すること。

3.保証ができない事項

(1)次に示す事項は保証修理致しません。

- ①経年変化あるいは使用損耗による不具合。
- ②一般に品質、機能に影響のない軽微な感覚的現象。
- ③地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。
- ④生活環境から逸脱した温度環境下(約-10℃~約40℃)での長時間使用、煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。
- ⑤法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。
- ⑥通常の注意で発見処置できたのにも関わらず、放置したことにより拡大した不具合。
- ⑦前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったことに起因する不具合。
- ⑧表示された防水規格の許容範囲を越えた状況下における浸水による故障。
- ⑨本体ユニット以外の消耗品。

(2)次に示す費用は負担いたしません。

- ①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。
- ②商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。
- ③電話代、運送代、機会損失等。
- ④この保証書に示す以外の費用、保証等。

4.保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、当社商品、この保証書と購入を証明するもの(レシート・領収書・購入控え等)をご用意いただき、当社までご連絡いただきますようお願いいたします。本書を提示されない場合、又はご連絡を頂いていない場合は保証修理を致しかねます。

お問い合わせ先

株式会社コミネ

本社 〒116-0001東京都荒川区町屋1-38-16 2F
TEL:03(5901)7770(代)
問い合わせ時間 10:00~15:00(土日祝日を除く)
FAX.03(5901)7769
<https://www.komine.ac>

KOMINE CO.,LTD

2F, 1-38-16, Machiya
Arakawa-ku, Tokyo, 116-0001
Japan
Tel. +81-3-5901-7770

製品保証書

保証期間：お買上日より1年間

保証書
Warranty Card

ご購入製品	
お買い上げ日	
20 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ご購入いただいたサイト	
お客様情報	
フリガナ お名前	
フリガナ ご住所	〒 TEL ()
故障状況 (お手数ですができるだけ詳しく記入してください)	
■ 使用期間	
■ 使用回数	
■ 故障箇所	
■ 故障内容	



<https://www.komine.ac/>